

# 大阪南部高速道路事業化促進協議会

大阪南部高速道路事業化促進協議会は、大阪府南部の高速道路空白地域と隣接するエリアに関係する市町村で構成されています。

この地域に高速道路を整備し、既存高速道路とのネットワークの強化を図ることで、下記のようなストック効果が生み出され、この地域、さらには奈良県・和歌山県を巻き込み関西圏域の発展と魅力ある暮らしの実現を目指します。

## 命の道

### ●南海トラフ巨大地震等各種災害への備え

大阪府南部は、南海トラフの断層帯から一定の距離にあり、標高が高く津波被害や液状化の心配が少ない地域で、東日本大震災で遠野市が果たした後方支援の役割を担える立地環境にあります。

しかし、現在は国道170号(大阪外環状線)・国道309号・国道310号があるものの交通容量が飽和状態にあり、慢性的な混雑と渋滞を引き起こしている状況です。

大阪南部高速道路を整備し、周辺の高速度道路(阪和自動車道・西名阪自動車道・南阪奈道路・京奈和自動車道)とネットワークを築くことにより、大阪湾岸・紀伊半島沿岸の津波被災地への「救助の道」・「支援の道」となり、陸上自衛隊信太山駐屯地もあるこの地域が救援に入る各種関係機関が集結する拠点(プラットフォーム)となります。

また、「中央構造線断層帯」「上町断層帯」などの地震が発生した場合にも比較的被害の少ない地域が、お互いに補完し合っていくためにもぜひとも必要なインフラであります。

そのほか、近年局地化・集中化する雨の降り方に起因する豪雨災害への対応につきましても、奈良県や和歌山県へつながることでその対応・支援に必要な道路です。

このようなことから、大阪南部高速道路整備を契機に国・府・県の協力のもと関係団体が、地域全体で防災・減災・被災後の体制を検討し、これまでの震災や水害その他の災害の教訓をもとにネットワークを最大限に生かし、その時に地域全体で備えます。

## チャンスへの道

### ●交流人口の増加

訪日外国人観光客数の目標人数が4,000万人となり、そのうち関西へは、4割の1,600万人が訪れ、多くは関西国際空港から入国される予想です。関西国際空港と直接高速道路で繋がることで日本の歴史・伝統文化が集積しているこの地域の個性・魅力を国内外に発信し、訪れていただける方を増やします。

また、2025年大阪万博開催やリニア中央新幹線開通によるチャンスを捉え、この地域のポテンシャルを最大限に発揮するためにもこの高速道路及びネットワークが必要となります。

大阪南部高速道路の整備により、リニア中央新幹線新駅が建設される奈良県から関西国際空港へのルートや、和歌山県さらには、その先の三重県伊勢志摩地域の歴史的遺産から関西国際空港までのネットワークが構築され、紀伊半島も含んだ活性化、交流人口の増加が期待できます。

### ●企業誘致

道路ネットワークの構築により、京阪神都市圏や沿岸部からの利便性の向上、関西国際空港へ直結することで、「陸・海・空」輸送可能な地域として、また、南海トラフ等の地震災害の影響が比較的少ない災害時の事業継続可能な地域としてのメリットを最大限にアピールし、企業に安全・安心な場所を提供することで地域の活性化を目指します。

※この地域には、大阪府立産業技術総合研究所や近畿職業能力開発大学校(近畿ポリテクカレッジ)、大阪府立環境農林水産総合研究所があり、ものづくりの技術や人材育成などの支援を受けやすい環境に加え、研究開発、研修などへの支援制度も充実しています。

また、企業の従業員や家族の方々に住んでいただくことで、少子高齢化・人口減少に歯止めをかけ、「元ニュータウン」を再生し、街の活性化を目指します。

**【組織概要】** (設 立) 平成27年12月13日  
(構成団体) 岸和田市・富田林市・河内長野市・松原市・和泉市・柏原市・羽曳野市・藤井寺市・大阪狭山市・太子町・河南町・千早赤阪村・五條市・橋本市・かつらぎ町(15市町村)  
(役 員) 会 長: 河内長野市長 島田 智明  
副 会 長: 富田林市長 多田 利喜・河南町長 武田 勝玄  
会計幹事: 大阪狭山市長 古川 照人・千早赤阪村長 松本 昌親  
(顧 問) 観心寺名誉住職 永島 龍弘